

ほんと 保健室

てんかん シリーズ ④

薬の主な種類と副作用について

抗てんかん薬には多くの種類があります。てんかんの種類や症状に合わせて様々な薬が処方されます。抗てんかんは長期の内服が原則になってきます。そのため、薬の副作用については、避けてとおれません。

この他にも様々な種類の薬がありますが、本校の生徒が多く服薬しているものです。

治療としては、まず、単剤療法が選択されます。一つの薬で効果がない場合は、他の薬を追加して調節していきます。



のみぐら

	第一選択薬	第二選択薬（追加薬）
部分発作	・テグレトール	・デパケン・デパケンR・セレニカR ・ガバペン 2006発売 ・トピナ 2007発売
全般発作	・デパケン・デパケンR セレニカR	
その他	・アレピアチン	・デパケン・デパケンR・セレニカR

<主な副作用>

テグレトール	複視（物が二重に見える）・めまい・眠気・悪心・頭痛 運動失調
デパケン・デパケンR セレニカR	吐き気・頭痛・下痢・脱毛・食欲増進または減退・肝機能障害
アレピアチン	めまい・眼振・眠気・運動失調・歯肉がはれる・多毛 ニキビの悪化
ガバペン	頭痛・複視・霧視・眠気・めまい・だるさ・体重増加
トピナ	眠気・体重減少・めまい・尿路結石

薬の量や種類が変わった際には、特に副作用が出る可能性があります。お子さんの様子をしっかりと見てあげてください。何かかわったことがあれば、主治医に相談するようにしてください。
また、変更時には、担任にも必ずお伝えください。

